

子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業

鳥見山散策と貯木場見学・源流体験

関西支部長 篠部幸雄 指導者グループ代表 新井博子

【事業のポイント】

- 鳥見山に登り、自然と歴史を体感
- 人工林、常緑樹・落葉樹の自然林の観察
- スギ・ヒノキ林の手入れ(間伐作業)を知る
- 木材市場(貯木場)で地場産業(木材関係)を知る
- 栗原川源流の様子を知る
-



オリエンテーション

1. 事業の趣旨

(1) 趣旨

小学校の学習指導要領における自然体験活動を通じた教育課程の趣旨を確認しつつ、何より、子供たちが楽しく、安全に、そして、主体的に目標達成に向かって活動できるよう企画され、地域を担う人材の育成につながる。全国的かつ継続的な自然体験活動推進事業を実施することにより、子供たちの健全な心身を育む。

2. 実施概要

(2) 開催実績

月日	場所	参加者数	日帰り・宿泊	経費	主な活動
9月22日	桜井市外山	22	日帰り		鳥見山の登山、木材市場見学、源流体験
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					

※必要に応じて枠を広げたり、行を増やしたりするなどして記載してください。

(3) 具体的な取組の概要

鳥見山の山道を歩き、自然を体感する。スギ・ヒノキ人工林や自然林(アラカシ等の常緑樹林やコナラ等の落葉樹林の様子を知る。鳥見山は、神武天皇時代にお祭りが行われた霊時であり、歴史のあるところであることを知る。山の小さな谷(栗原川の源流)から水が流れ、下流の大きな川につながることやサワガニなどの生き物とふれあう。ヒノキ人工林で間伐作業を見学(チェーンソーでの伐採)、間伐材の皮むきを体験する。

3. 成果と課題

(1) 事業の成果と課題

鳥見山の自然を楽しんで登山でき、人工林や自然林を知ることができたと思われる。人工林の手入れについても体感でき、手入れされた木が木材として伐採され市場に出荷されることを理解されたと思われます。実感、栗原川の源流を歩き、水の始まりを知ることができたと思われます。